

海外サマーコース参加者留学生 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	梨花女子大学 (国名: 韓国)	
参加プログラム名	2011 Ewha International Summer College Session II	
プログラム期間	2011 年 8 月 ~ 2011 年 8 月	
学部/学府・年次	文学部	2 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 「有」の場合、免除額を記入してください()	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (49295 円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) 寮費 277000ウォン フィールドトリップ費 200000ウォン	
このプログラムを選んだ理由	夏休みを使って英語の勉強をしたいと思い、英語圏のサマースクールを探したが、金額が高く断念したところ、韓国文化を英語で学ぶという梨花女子大学のサマースクールをみつけた。私は文学部で東洋史学専攻でもあるし、韓国には昔から興味もあったので、応募することにした。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 2014年 4月から) 2. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	
1. 参加プログラムと大学について		

<p>プログラム(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>午前中は韓国語のレベルによって分けられたクラスで韓国語の授業を受けた。私は韓国語を勉強するのが初めてだったからまずはハングルの読み書きから教えてもらい、簡単な文法、自己紹介までできるようになった。</p> <p>午後は歴史や文化について英語で講義を受け、その後その授業に関連した場所に見学に行った。例えば韓国の映画について勉強したあと、映画館に行って映画を鑑賞したり、歴史の授業を受けたあと、国立博物館に行ったりした。</p>
<p>主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>留学科の先生が英語はもちろん、日本語や中国語フランス語を話せたので困った時の対応にはまず困ることはない。</p> <p>それから先生がとても熱心であったので勉強についてもソウルでの生活についても心配することはないと思う。</p> <p>寮の設備がとてもよい。広さも十分あるし、清潔で警備もきちんとしている。各部屋にトイレもシャワーもついているが、各階にシャワールームとトイレ、食事スペースと簡単なキッチンなどがある。スポーツジムやコンビニも入っていてとても便利で快適な生活が送れる。</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>とても力の入ったプログラムだと感じた。ただ二週間という短い期間にかなりの内容が凝縮されているのでとてもタイトなスケジュールできつかった。言語の授業は毎朝9時から12時までで、先生は韓国語と英語を使うのでとても疲れるし、その後の英語の講義も二時間ほどあってきついと皆言っていた。でも私は東洋史学専攻だったので、特に歴史の授業が面白かった。日本で韓国の歴史を学ぶのと韓国で韓国の歴史を学ぶのはやはり違いがあり、同じ事実をどうとらえるのかという違いをととても感じた。この授業を通して私はさらに歴史を学ぶ意味を感じることができたと思う。</p> <p>大学に関しては、韓国でトップレベルの私立大学ということもあり、設備の充実、キャンパスの清潔感、先生の熱心さ、それから学生の勉強に対する意欲と聡明さには驚き、とてもいい刺激となった。たいていの学生が英語を話すことができ、中には何ヶ国語も話せるという学生もいた。サマースクールの参加者は日本人が圧倒的に多かったが、アメリカやヨーロッパ、中国から来ている学生と触れ合えたことも大きな経験であった。外国の同年代の学生が何に興味を持ち、どのような勉強をしているのか肌で感じることができたからだ。私にとってこのプログラムは留学を考える大きなきっかけになったと思う。</p>

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>サマースクールの参加者の中には英語も韓国語も話せる学生もいるが、母国語しか話せないという学生もいた。毎年日本人が大変多いらしいので、言語に対しては実際なんとなかなる。金銭的にも九大が援助してくれていることや、支払う金額に対しての内容度を考慮すると、迷うことなく参加してみることを勧めます。特に一年生や二年生の段階で参加できたらまたどんどん新しいことに挑戦できると思うので、行ってみたいほしい。</p> <p>参加するための前準備などは特に必要ない。私も一度も韓国語について勉強したことも韓国に行ったこともなかったがスムーズに馴染むことができたので、不安に思う必要は全くない。</p> <p>学校の近くには何でも揃っているし物価も割と安くて生活しやすい。インターネットをスムーズに使いたいなら自分のパソコンを持って行った方がいいと思う。ケーブルを借りたら自分の部屋でインターネットが使える。コンピュータールームはあったが、日本語は使えないし若干遅かったの。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	<p>特になし。</p>
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>大学の周りの雰囲気がとてもよかった。梨花女子大学のあるイデという町はかわいらしいお店が多かった。飲食店やカフェも大変多くて便利。ご飯は500円前後で食べることができる。イデの雰囲気も楽しみつつ、毎晩友達と韓国料理を食べに行くことも楽しみの一つだった。</p> <p>私はルームシェアの相手がとても気の合う同じ年の日本人の学生だったので、楽しい2週間を過ごすことができた。毎日スケジュールは夕方に終わったので、それからソウルを歩き回ったり、買い物したり、韓国で生活しつつ、観行もできて楽しかった。</p> <p>外国の学生と交わるのは当初はできなかったが、帰国が近まった頃にはたくさん友達ができ、いい刺激をたくさんもらったと思う。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>食費とお土産代などで全部で5万円ほど使った。</p>

日本から持参した方がよいもの（PCや変圧器等の要不要も）	パソコンは必需品ではない。寮に日本語使用不可だがインターネットに接続可のパソコンルームがある、変圧器も寮で貸出してくれるので必要ない。 ドライヤー、タオル類は必要。洗濯用洗剤やハンガーもあれば助かる。
日常生活（治安対策を含め）に関するアドバイス	大学の周りは一人居ても出歩ける。 ソウル全体も治安は悪くないと感じた。
お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	日本円を韓国で換金するのがいい。 学校の敷地内にも銀行があった。 ただ、銀行は四時までに閉まるので注意すること。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類（○印をつける）	・大学の寮
立地	大学のキャンパス内
伝えたい地域情報、生活情報	地下鉄の駅から10分ほど。
5. その他の特記事項	
特になし。	